

R3年度

CSMI若手共同研究PJ

研究進捗発表会

特別講演

理研BDR 個体パターンニング研究チームTL

濱田博司先生



動物の体の 非対称性が 生じるしくみ

Molecular and cellular basis
of left-right asymmetry

R4.
7/5 (火)
17:00~18:30

動物の体には頭尾・背腹・左右という3つの方向性があり、その座標に沿って臓器が形成～配置されます。私は胚性腫瘍細胞（ES細胞によく似た未分化な細胞）の細胞分化の研究をしていましたが、あるときマウス胚で左右非対称に発現する遺伝子に遭遇し、以来30年近く、体の左右非対称性が生じるメカニズムを研究しています。左右両側の細胞を区別するシグナル因子の役割やその発現の制御、非対称な器官形成の機構、対称性を破る上での繊毛の役割など、概略を明らかにする事はできましたが、一方でまだ幾つか重要な疑問が残っています。ここでは、これまでに判ったこと、いま興味を持って取り組んでいる問題を紹介します。私は正統な発生生物学者ではなかったですが、そのためにできなかったことや逆にできたこととお話しして、若い人の将来にとっての1つのLessonになれば幸いです。

ハイブリッド開催
(対面+Web)
シスメックスホール

申込期限
6/20

申込は Webから

hosted by

神戸大学メディカルトランスフォーメーション研究センター (CMX)

(問合)医学部研究支援課研究企画係 羽子田/天羽 k9shien@med.kobe-u.ac.jp